KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 09 -

トラブルシューティング

Ver. 01.00

目次

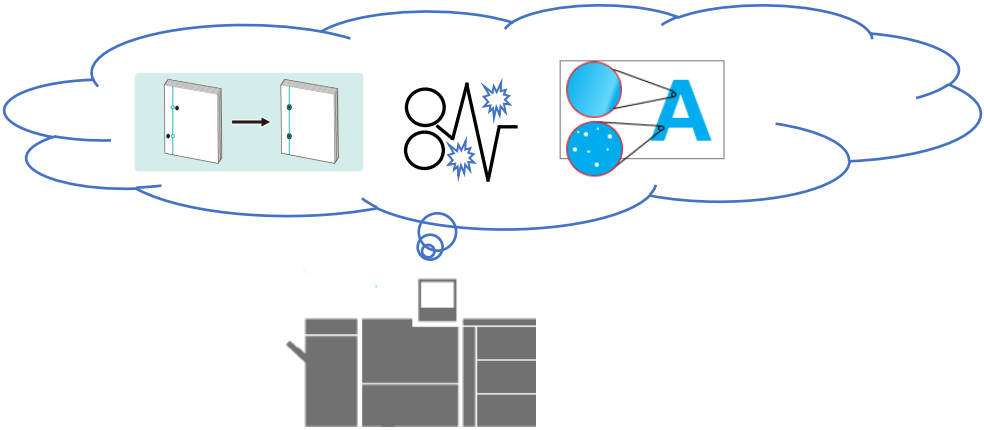
1 はじめに

2 紙づまり

3 画質トラブル

4 仕上がりトラブル

5 画像位置トラブル



1 はじめに

1-1.はじめに

本書は本機を使用している際に発生したトラブルの現象ごとに解決する方法を説明しています。
トラブルは、かんたん設定や各種設定を使って解決します。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。
トラブルの対処を行っても症状が改善されない場合や対処方法にお困りの際には、サービス実施店にお問い合わせください。

1-2.かんたん設定

[エキスパート調整]は各種症状を解決するための設定が数多く用意されています。

一方[かんたん設定]は、あらかじめ[エキスパート調整]の項目がプリセットとして設定されています。そのため[かんたん設定]では、専門的な知識が必要な[エキスパート調整]を容易に行えます。

1 はじめに

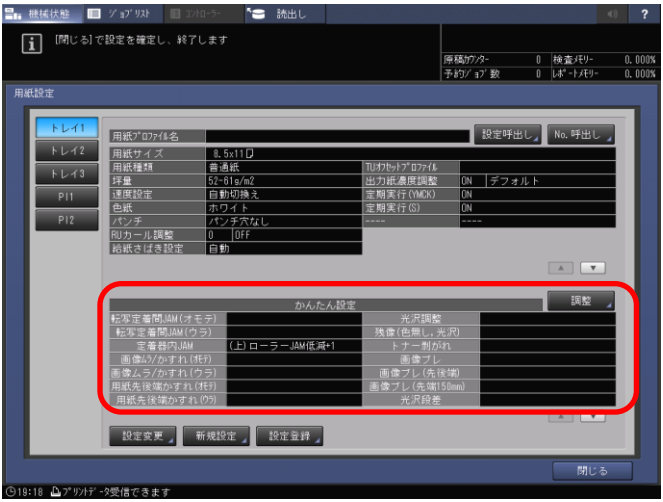
<かんたん設定の場所>

［機械状態］画面の下に並んでいるファンクションキーの［かんたん設定］を選択します。なお本設定は［用紙設定］からも実行できます。



<かんたん設定を使ったワークフロー>

1. ［用紙設定］から［かんたん設定］の調整値が残ってないか確認します。残っている場合は該当の設定をリセットしてください。



1 はじめに

<注意>
他の設定がセットされたまま残っている場合、後で設定したプリセットテーブルの値が優先されます。また、前に適用した設定がそのまま残ります。そのため、かんたん設定を行う前に、必ずリセットしてください。以下は、２つの設定を重ねた場合の例です。

適用順	かんたん設定		プリセットテーブル内の調整項目と値			
	設定名	設定値	定着上ベルト中央温度（プリント中）	定着上ベルト端部温度（プリント中）	坪量–速度設定	定着クリーニングローラ設定
1	残像（色なし、光沢）	改善+2	–5	–5	高速/中高速	ON
2	トナー剥がれ	改善+2	+10	+10	高速/中高速	
結果として適用される調整値			+10	+10	高速/中高速	ON

2. 2章以降に記載されている説明に沿ってトラブルに対処します。

3. ［機械状態］画面の下に並んでいるファンクションキーの［用紙設定］を選択します。

4. 適用トレイに対して、用紙プロファイルにかんたん設定でセットした内容を登録します。
登録のしかたは「用紙」冊をご覧ください。

1-3.JAMコード

JAMコードは、画面上部に表示されます。紙づまりの種類によって<J-xxxx>のxxxxの数字が異なります。JAMコードが表示されない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



<参考>
JAMコードは、以下のような区分で分類されています。本書では代表例をご紹介します。

JAMコード	区分
J-1601～1641	給紙ユニットに関連した内容
J-3101～3152	レジスト／定着に関連した内容
J-3201～3254	定着／排紙に関連した内容
J-7218～7224	フィニッシャー／本体のジャム内容

1-4.トラブルを防ぐために

基本操作冊の使用環境／本体仕様に記載されていることに加えて、次のポイントをごらんになって用紙をセットしてください。

・開封面を同じにして、トレイにセットしてください。
・用紙が直角かどうか確認してください。
・用紙の実寸を金尺ではかり入力してください。
・出力時にカールする場合は、用紙セット方向（180度）を変えてみてください。
・残った用紙をトレイに入れたままにした場合、用紙状態が変わる可能性があります。
・断裁した用紙を積み重ねた状態のままにした場合、用紙が湿気を帯びてしまい用紙搬送、または仕上がりに不具合が発生する場合があります。

1-5.本書の内容

本書ではトラブルの現象ごとに解決手段を説明しています。

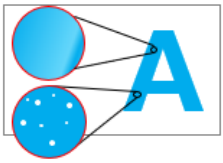
紙づまり



2章をごらんください。

画質トラブル

画像ムラ・かすれ



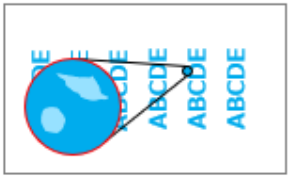
3章(3-1)をごらんください。

光沢トラブル



3章(3-2)をごらんください。

トナー剥がれ



3章(3-3)をごらんください。

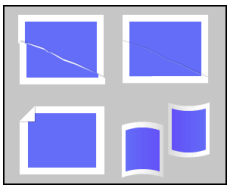
画像ブレ



3章(3-4)をごらんください。

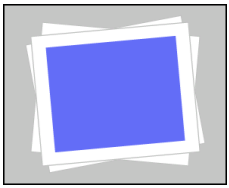
1 はじめに

紙しわ、角折れ、カール



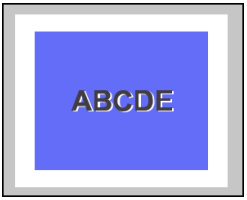
3章(3-5)をごらんください。

静電貼り付き/積載不良



3章(3-6)をごらんください。

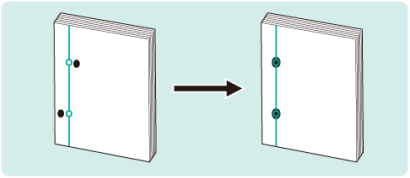
色ずれ



3章(3-7)をごらんください。

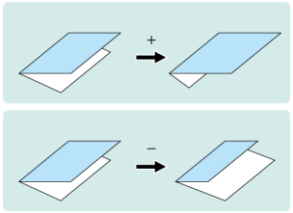
仕上がりトラブル

パンチの仕上がりを調整する



4章(4-1)をごらんください。

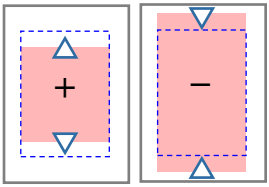
小冊子の仕上りを調整する



4章(4-2)をごらんください。

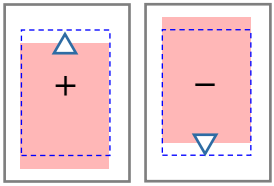
画像位置トラブル

倍率



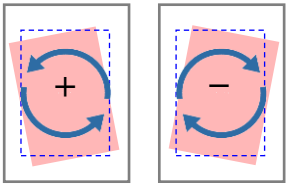
タテ倍

イメージシフト



上下

歪み



回転

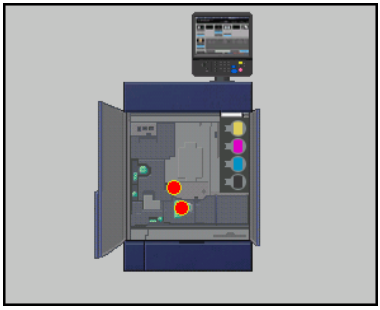
5章または「画像位置調整」冊をごらんください。

2 紙づまり

2-1.JAMコード［J-3201］を対処したい

・現象

オモテ面の印刷中に転写部で発生する紙詰まり。
主に薄紙で発生し、JAMコード［J-3201］が多発する状況。



・設定方法

1.以下を設定してください。

[かんたん設定] – [紙づまり] - [転写定着間JAM（オモテ）]

適応するトレイを選択します。

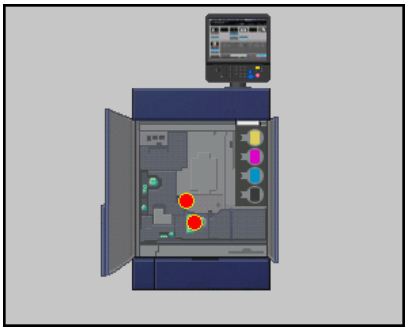
調整値を[JAM低減＋１]からお試して、修復できない場合には＋２、＋３の順に設定変更をしてください。

<注意>
設定値を上げていくと、用紙先端の画像欠損量が増加します。

2-2.JAMコード［J-3204］を対処したい

・現象

ウラ面の印刷中に転写部で発生する紙詰まり。
主に薄紙で発生し、JAMコード［J-3204］が多発する状況。



・設定方法

1.以下を設定してください。

[かんたん設定] – [紙づまり] – [転写定着間JAM（ウラ）]

適応するトレイを選択します。

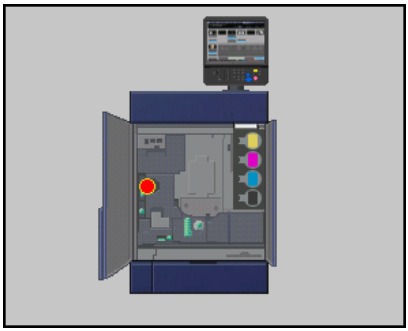
調整値を[JAM低減＋１]からお試して、修復できない場合には＋２、＋３の順に設定変更をしてください。

<注意>
設定値を上げていくと、用紙先端の画像欠損量が増加します。

2-3.定着器内でのJAMを対処したい

・現象

定着器内でJAMが多発する状況。



・設定方法

1.以下を設定してください。

[かんたん設定] – [紙づまり] - [定着器内JAM]
適応するトレイを選択します。
いずれかの設定の＋１から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>
・設定値を上げていくと、用紙先端の画像欠損量が増加します。
・定着性の低下や色味の変動が発生する場合があります。

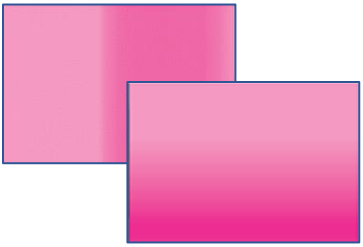
3 画質トラブル

3-1.画像ムラ・かすれ

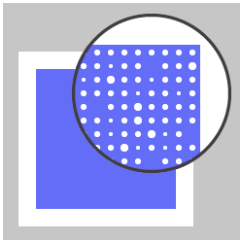
3-1-1.濃淡ムラや色抜けによるかすれを改善したい（オモテ面）

・現象
オモテ面の画像全体に対するムラやかすれ、白点（0.1mm程度の色抜けが対象）が出る。

ムラ



白点



・設定方法
1.使用している用紙が、長時間低湿度下の外気にさらされている場合や、PFUに放置されていた場合は、乾燥により発生しやすくなっている可能性があるため、開直紙に変更してください。

2.以下を設定してください。
設定メニュー/カウンター - [管理者設定] - [環境設定] - [エキスパート調整] - [補正動作の実行] - [トナーリフレッシュモード1]

3.手順２でも改善しない場合は、以下を設定してください。

[かんたん設定] – [画質不良] - [画像ムラ/かすれ（オモテ）]
適応するトレイを選択します。
調整値は[ムラ改善＋１]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。白点は[白点改善]を選択してください。

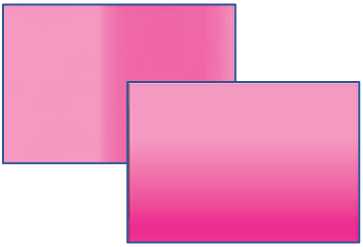
<注意>
・色味が変動します。
・ムラ改善＋２以上ではトナー剥がれが発生する場合があります。

3-1-2.濃淡ムラや色抜けによるかすれを改善したい（ウラ面）

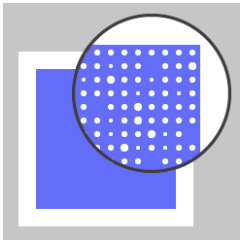
・現象

ウラ面の画像全体に対するムラやかすれ、白点（0.1mm程度の色抜けが対象）が出る。

ムラ



白点



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [画像ムラ/かすれ（ウラ）]

適応するトレイを選択します。

調整値は[ムラ改善＋１]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。白点は[白点改善]を選択してください。

<注意>

・色味が変動します。

・ムラ改善＋２以上ではトナー剥がれが発生する場合があります。

2.手順１でも白点が改善されない場合は、[2次転写出力調整]にて、調整値を+側に設定します。発生している面によって、+方向に10刻みで数値を入力し、適正な出力を選択します。

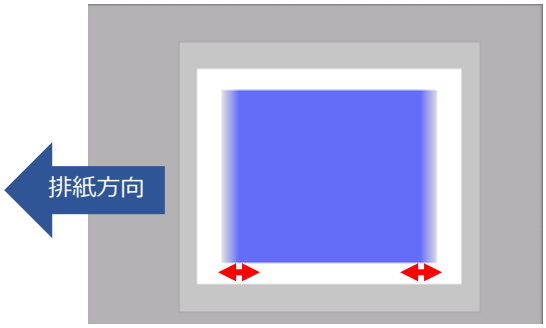
・[用紙設定]→[設定変更]→[エキスパート調整]→[2次転写出力調整(ウラ)]

3.使用している用紙が、長時間低湿度下の外気にさらされている場合や、PFUに放置されていた場合は、乾燥により発生しやすくなっている可能性があるため、開直紙に変更してください。

3-1-3.用紙先端または後端のかすれを改善したい（オモテ面）

・現象

オモテ面の用紙先端または後端の**かすれ**。以下の設定では、主に厚紙に効果があります。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [用紙先後端かすれ（オモテ）]

適応するトレイを選択します。

設定値は発生場所（先端、後端、先端後端両方）で設定が分かれます。

- 先端または後端のみで発生している場合
  [用紙先端＋1]または[用紙後端＋1]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

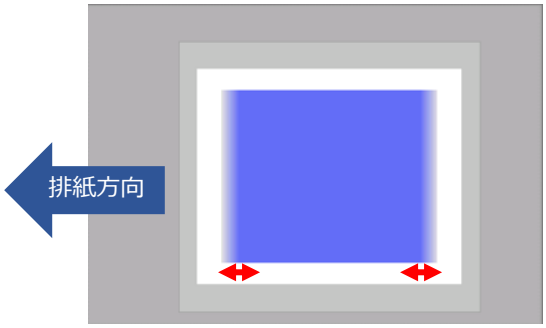
- 先端と後端共に発生している場合
  [用紙先後端 ＋ 1]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

<注意>
各設定の＋２は画像ブレが発生しやすくなります。画像ブレが発生した場合は、かんたん設定内の［画像ブレ］を合わせてお試しください。

3-1-4.用紙先端または後端のかすれを改善したい（ウラ面）

・現象

ウラ面の用紙先端または後端の**かすれ**。以下の設定では、主に厚紙に効果があります。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [用紙先後端かすれ（ウラ）]

適応するトレイを選択します。

設定値は発生場所（先端、後端、先端後端両方）で設定が分かれます。

- 先端または後端のみで発生している場合
  [用紙先端＋1]または[用紙後端＋1]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

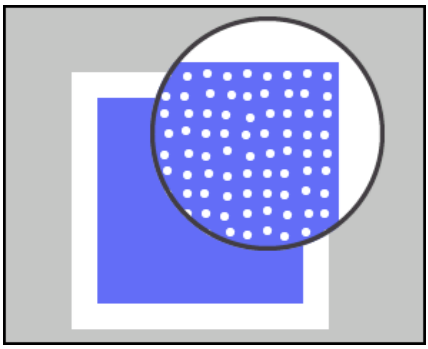
- 先端と後端共に発生している場合
  [用紙先後端 ＋ 1]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

<注意>
各設定の＋２は画像ブレが発生しやすくなります。画像ブレが発生した場合は、かんたん設定内の［画像ブレ］を合わせてお試しください。

3-1-5.白プチの発生を抑えたい（オモテ面）

・現象

白プチ（白点）が発生する。オモテ面に印刷された画像全体に対する白プチに効果があります。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [白プチ（オモテ）]

適応するトレイを選択します。

[白プチ改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

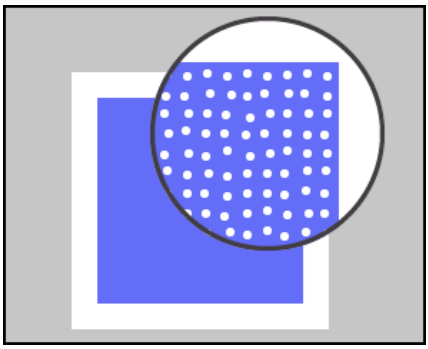
<注意>

設定項目で「＋」の値が高いほど画像端部に発生するムラを抑えます。ただし、画像の色味の再現性が変動する場合があります。

3-1-6.白プチの発生を抑えたい（ウラ面）

・現象

白プチ（白点）が発生する。ウラ面に印刷された画像全体に対する白プチに効果があります。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [白プチ（ウラ）]

適応するトレイを選択します。

[白プチ改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

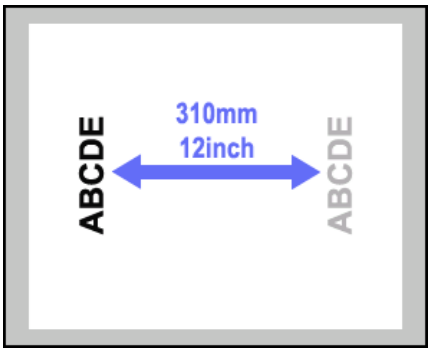
<注意>

設定項目で「＋」の値が高いほど画像端部に発生するムラを抑えます。ただし、画像の色味の再現性が変動する場合があります。

3-1-7.ゴースト画像の発生を抑える

・現象

用紙搬送方向の約310 mm / 12"間隔にゴースト画像発生する。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [静電オフセット]

適応するトレイを選択します。

[オフセット改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>

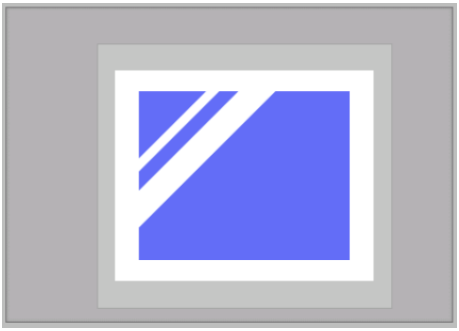
設定項目で「＋」の値が高いほど画像端部に発生するムラを抑えます。

3-2.光沢トラブル

3-2-1.光沢度を調整したい

・現象

印刷時の画像の光沢度が気になる場合。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質調整] - [光沢調整]

適応するトレイを選択します。

調整は以下のとおりです。

- 光沢度を低減させたい場合
  [光沢低減－１]から試して、満足できない場合には[光沢低減－２]に設定変更をしてください。

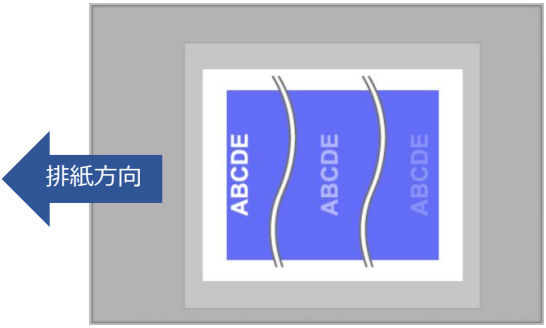
- 光沢度を上昇させたい場合
  [光沢上昇＋１]から試して、満足できない場合には[光沢上昇＋２]に設定変更をしてください。

<注意>

・低減するほど、定着性がやや悪化します。
・上昇するほど、特に薄紙のカールが強くなります。

3-2-2.色味の無い残像（光沢差）の発生を改善したい

・現象
色味の無い残像（光沢差）が発生する。



・設定方法
1.[かんたん設定] – [画質不良] - [残像（色無し,光沢）]
適応するトレイを選択します。

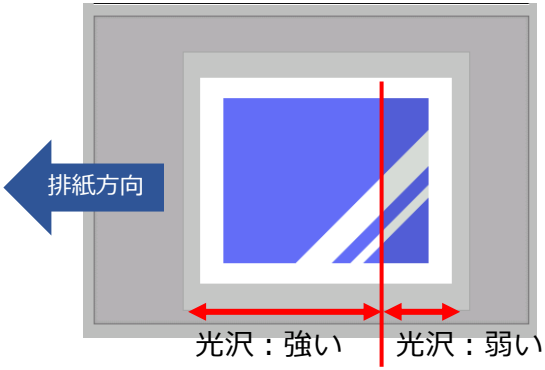
[改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>
•[改善+2]：トナーの定着性が落ちる
•[改善+3]、[改善+4]：トナーの定着性が落ち、生産性が低下する

3-2-3.両面印刷時の段階的な濃度差（光沢差）を改善したい

・現象

両面印刷時の段階的な濃度差（光沢差）が生じる。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [光沢段差]

適応するトレイを選択します。

[改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>

- [調整なし] :調整をしません。
- [改善+1]～[改善+3] :濃度差を抑えます。数値が大きいほど効果があります。

3-2-4.全体的な光沢ムラの発生を抑えたい

・現象
全体的な光沢ムラが発生する。



・設定方法
1.[かんたん設定] – [画質不良] - [光沢ムラ(スジ/もや)]
適応するトレイを選択します。

[改善A]から試して、修復できない場合にはB、Cの順で設定変更をしてください。

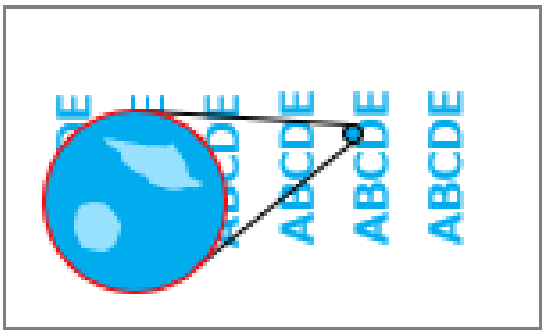
<注意>
選択した項目によっては以下の症状が発生する場合があります。
-[改善A]：全体の光沢度が増加します。
-[改善B]：全体の光沢度が低下しますが、定着性も低下します。
-[改善C]：トナーによって、用紙同士が貼付く場合があります。

3-3.トナー剥がれ

3-3-1.トナーが剥がれる現象を改善したい

・現象

印刷された用紙からトナーが剥がれる現象。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [トナー剥がれ]

適応するトレイを選択します。

[改善＋１]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>

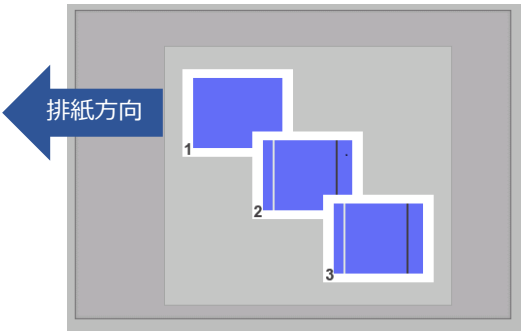
-[改善+1]：画像の光沢度がやや高くなる
-[改善+2]：画像の光沢度が高くなる
-[改善+3]：生産性が低下する
-[改善+4]：生産性が低下し、画像の光沢度が高くなる

3-4.画像ブレ

3-4-1.細かいスジや文字ブレを改善したい

・現象

同じ場所に発生する細かいスジや文字ブレ。
特に、連続印刷時の２枚目以降で繰り返し発生します。



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [画像ブレ]
適応するトレイを選択します。

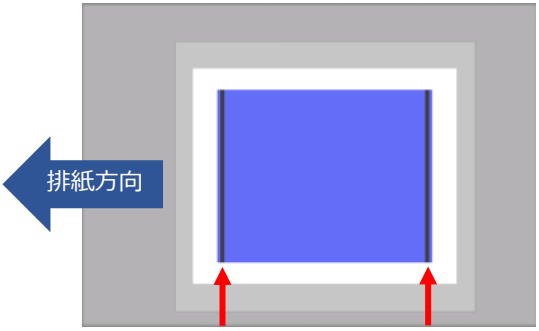
[改善+1]から順に調整してください。厚紙（217 g/m2 / 58 lb Bond 以上の用紙）の場合は、[改善(厚紙)+1]から順にお試しください。

<注意>
用紙の種類によっては用紙の先後端のかすれが悪化する場合があります。

3-4-2.画像先後端に発生する細かいスジや文字ブレを改善したい

・現象

画像先後端に発生する細いスジや文字ブレ。
先後端（端部から１０mm以内）に画像ブレが発生する場合に効果があります。



・設定方法

1.まずは[かんたん設定] – [画質不良] - [画像ブレ]を試してください。
適応するトレイを選択します。

[改善+1]から順に調整してください。厚紙（217 g/m2 / 58 lb Bond 以上の用紙）の場合は、[改善(厚紙)+1]から順にお試しください。

<注意>
用紙の種類によっては用紙の先後端のかすれが悪化する場合があります。

2.手順1で改善されない場合は[かんたん設定] - [画像ブレ（先後端）]を行ってください。
適応するトレイを選択します。

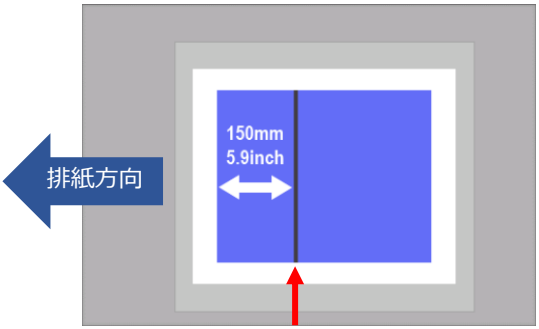
[改善＋１]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

<注意>
紙種によっては先後端位置以外の画像ブレが悪化します。

3-4-3.用紙先端から１５０mmの位置に画像ブレが発生する細かいスジや文字ブレを改善したい

・現象

同じ場所に発生する細いスジや文字ブレ。
用紙先端から１５０mmの位置に画像ブレが発生する場合に効果があります。



・設定方法

1.まずは[かんたん設定] – [画質不良] - [画像ブレ]を試してください。
適応するトレイを選択します。

[改善＋１]から試して、修復できない場合には＋２に設定変更をしてください。

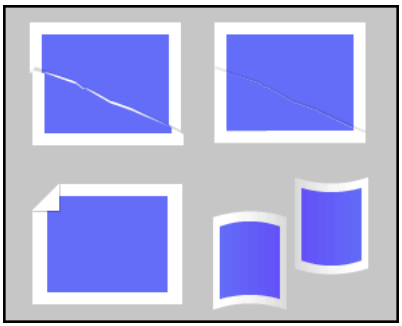
<注意>
紙種によっては用紙の先後端のかすれが悪化します。
紙種によっては先後端位置（端部から１０mm以内）の画像ブレが悪化します。

3-5.紙シワ、角折れ、カール

3-5-1.両面印刷時に発生する紙シワや角折れ、カールを抑えたい

・現象

本体内部で紙シワや角折れ、カールが発生する



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [紙しわ/角折れ/カール]

適応するトレイを選択します。

[改善+1]から試して、修復できない場合には順に設定変更をしてください。

<注意>

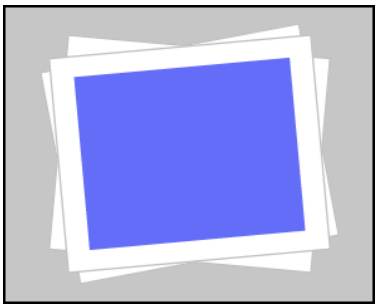
•設定項目で「＋」の値が高いほど紙シワや角折れ、カールの発生を抑えます。ただし、定着性が低下する場合があります。

3-6.静電貼り付き/積載不良

3-6-1.用紙同士の貼付きや排紙トレイに排紙された用紙の不揃いを抑えたい

・現象

静電気による用紙同士の貼付きや排紙トレイに排紙された用紙の不揃い



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [静電貼り付き/積載不良]

適応するトレイを選択します。

それぞれの症状を確認しながら以下のように調整してください。

塗工紙：[塗工紙+1]から順に調整
非塗工紙：[非塗工紙+1]から順に調整

-[塗工紙+1]、[塗工紙+2]: 静電気による用紙同士の貼付きを抑えます。数値が大きいほど効果があります。

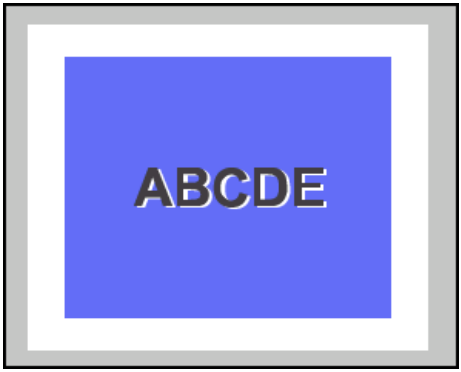
-[非塗工紙+1] ～ [非塗工紙+3]:静電気による用紙同士の貼付きや排紙トレイに排紙された用紙の不揃いを抑えます。数値が大きいほど効果があります。

3-7.色ズレ

3-7-1.印刷の際に色ズレの発生を抑えたい

・現象

印刷の際に発生する色ズレ



・設定方法

1.[かんたん設定] – [画質不良] - [色ズレ]

適応するトレイを選択します。

<注意>

- •217 g/m2 / 58 lb Bond以上の厚紙へ印刷する際に発生した色ズレは、[色ズレ(厚紙)+1]から順に調整してください。
- •インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-601装着時に301 g/m2 / 82 lb Bond以上の厚紙を印刷する場合は、[定着速度自動調整(厚紙)]もお試しください。

[調整なし]：調整をしません。

[色ズレ+1]：色ズレの発生を抑えます。用紙が薄紙の場合は、にじみやしわが悪化することがあります。

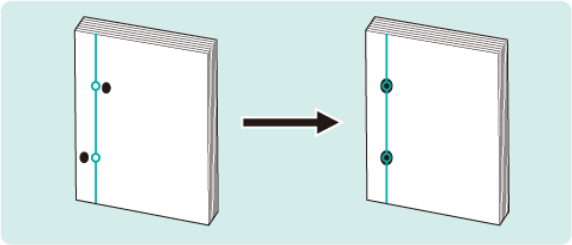
[色ズレ(厚紙)+1] ～ [色ズレ(厚紙)+3]:厚紙（217 g/m2 / 58 lb Bond以上の用紙）の色ズレの発生を抑えます。数値が大きいほど効果があります。[色ズレ(厚紙)+3]は生産性が大きく低下する場合があります。

4-1.パンチの仕上りを調整したい

4-1-1.パンチ位置の傾きを調整したい

・現象

パンチ位置が傾いている場合。

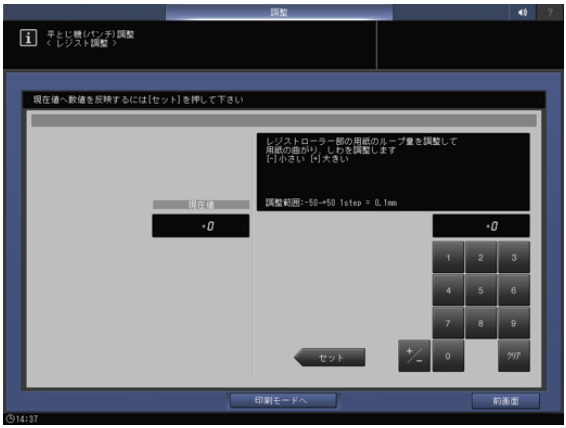


・設定方法

1.レジストローラー部の用紙のループ量を調整して、用紙の曲がりやしわを整えるため、以下にアクセスします。

設定メニュー/カウンター - [管理者設定] - [環境設定] - [エキスパート調整] - [フィニッシャー調整] - [平とじ機調整] - [平とじ機(パンチ)調整] - [レジスト調整]

2. [印刷モードへ]を押します。



3.任意の用紙をセットして、その給紙トレイを選択します。
[出力設定]は自動で[パンチ]に設定されます。

4.操作パネルのスタートを押します。
サンプルが出力されます。

5.パンチ位置の傾きを確認します。

6.調整が必要な場合は、[印刷モード終了]を押して、設定画面に戻ります。

7.テンキーで数値を入力します。
・[＋／－]で数値のプラスまたはマイナスを選択し、[セット]を押すと[現在値]を変更できます。
・[調整範囲:-50 ~ +50 1step = 0.1mm]

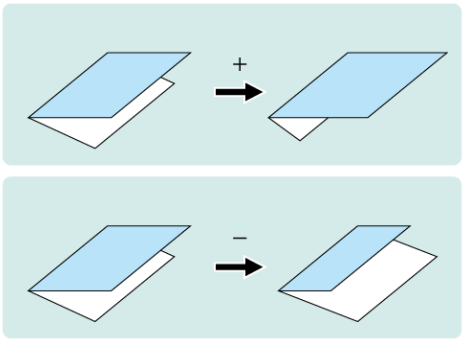
8.目的の結果が得られるまで、手順２～７を繰り返します。

4-2.小冊子の仕上がりを調整したい

4-2-1.中折り位置を調整したい

・現象

中折り位置が、排紙上面または下面にズレたとき。ここではSD-506を装着した場合の調整方法を説明します。



・設定方法

1.以下にアクセスします。

設定メニュー/カウンター - [管理者設定] - [環境設定] - [エキスパート調整] - [フィニッシャー調整] - [中とじ機調整] - [中折り位置調整]

2.調整する用紙サイズ選択キーを押します。



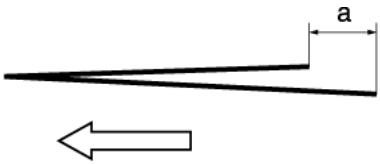
3.[印刷モードへ]を押します。

4.調整するサイズの用紙をセットして、その給紙トレイを選択します。

5.操作パネルのスタートを押します。
サンプルが出力されます。

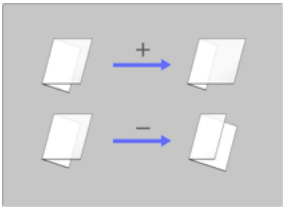
<注意>
[中とじ]または[重ね中折り]で出力するときは、印刷前に必ず折り／とじトレイを引出してください。引出さないと、操作パネルのスタートを押しても出力されません。

6.出力された用紙の端のズレaを確認します。*規格値：a＝1.5 mm以下



7.調整が必要な場合は、[印刷モード終了]を押して、設定画面に戻ります。

8.テンキーで数値を入力します。
・[＋／－]で数値のプラスまたはマイナスを選択し、[セット]を押すと[現在値]を変更できます。
・[調整範囲:-50 ~ +50 1step = 0.1mm]

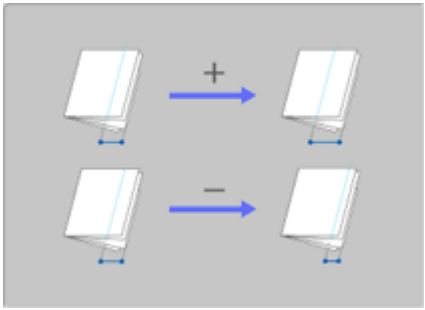


9.目的の結果が得られるまで、手順3 ～ 手順8を繰返します。

4-2-2.小口断裁量を調整したい

・現象

中綴じ機での小口側の断裁量に問題がある場合。ここではSD-506を装着した場合の調整方法を説明します。



・設定方法

1.以下にアクセスします。

設定メニュー/カウンター - [管理者設定] - [環境設定] - [エキスパート調整] - [フィニッシャー調整] - [中とじ機調整] - [断裁量調整]

2.調整する用紙サイズ選択キーを押します。



3.[印刷モードへ]を押します。

4.調整するサイズの用紙をセットして、その給紙トレイを選択します。

5.操作パネルのスタートを押します。
サンプルが出力されます。

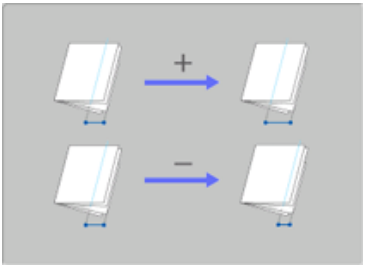
<注意>
印刷前に必ず**折り／とじトレイ**を引出してください。引出さないと、**操作パネル**の**スタート**を押しても出力されません。

6.出力された用紙の距離aを確認します。*規格値：a＝2.0 mm以下



7.調整が必要な場合は、[印刷モード終了]を押して、設定画面に戻ります。

8.テンキーで数値を入力します。
・[＋／－]で数値のプラスまたはマイナスを選択し、[セット]を押すと[現在値]を変更できます。
・[調整範囲:-400 ~ +400 1step = 0.1mm]
・断裁量は、表紙を2.0 mm以上断裁するように設定してください。2.0 mm以下の場合、断裁不良を起こすことがあります。



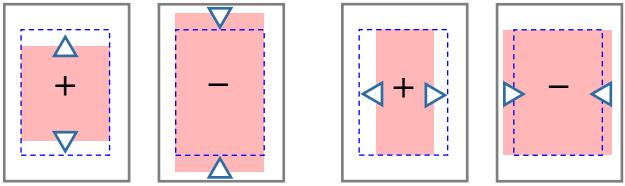
9.目的の結果が得られるまで、手順3 ～ 手順8を繰返します。

5 画像位置トラブル

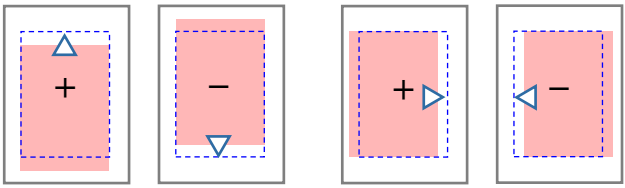
5-1.画像位置トラブルを解決するには

本機では、画像のタテヨコ倍率、上下/左右のシフト量と歪み量を調整し、用紙の正しい位置に印刷するための調整を行えます。くわしくは、「画像位置調整」冊をごらんください。

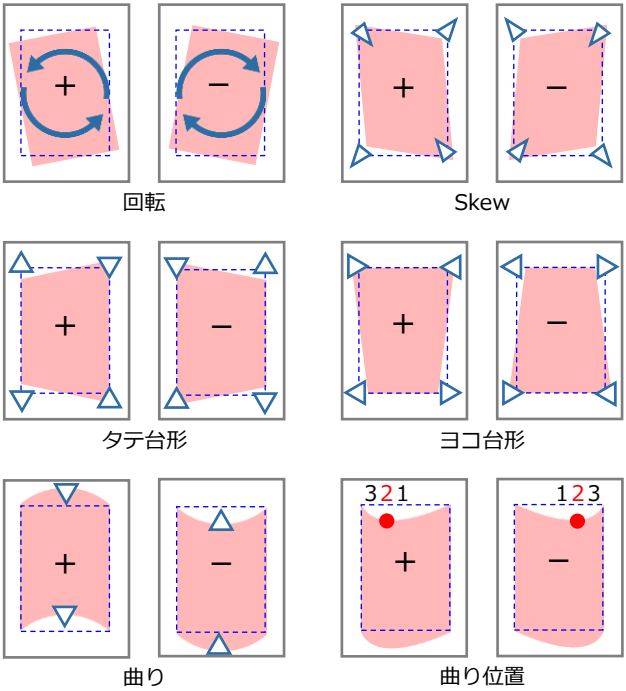
［倍率］



［イメージシフト］



［歪み］



© 2026 KONICA MINOLTA, INC.